

【10-1-2】 養成する人材（現代社会学部現代社会学科）

●学科の教育研究上の目的（学則第3条の2）

現代社会学科は、現代社会が求める幅広い基礎的教養と現代社会がもつ様々な側面を洞察し、的確な判断ができる専門的知識、ならびに現代社会を生き抜くために必要な課題発見・問題解決型能力と積極的な行動力をもった、現代社会に貢献できる人材の育成を教育目標とする。

●養成する人材像

- （1）現代社会並びに名古屋都市圏・中部圏の持続的発展を経済の側面から支えるために、幅広い社会的教養と経済社会に関する専門的知識を兼ね備えて、一般企業やビジネスの世界で活躍する人材
- （2）現代社会で重要さを増すソーシャル・地域・近隣コミュニティ・人間関係・家族などの場面に関わるビジネスや社会性の高い業種の民間企業・組織において、幅広い基礎的教養と現代社会に関する専門的知識を兼ね備え、その専門的能力を生かして活躍する人材
- （3）現代社会において重要な社会的役割を担う公共機関、公益法人、NPO等の民間非営利団体、及びその他の社会的組織において、幅広い基礎的教養と現代社会に関する専門的知識を兼ね備え、その専門的能力を生かして活躍する人材